



学校だより

前期学校評価特別号

令和4年10月14日(金)

野々市市立野々市小学校



学校評価に関するアンケート結果の報告

7月に保護者の皆様には「学校評価に関するアンケート」にご回答をいただきありがとうございました。このアンケートは、保護者の皆様、児童、教職員のそれぞれに対して行っています。その結果を分析・考察することで、さらによりよい学校づくりに生かしていきたいと思っています。

評価内容		A	B	C	D	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	児童 学校は楽しい。	57%	32%	8%	4%						
	保護者 お子さんは、楽しそうに学校に通っている	57%	34%	7%	2%						
2	児童 授業がわかる。	50%	40%	9%	2%						
	保護者 お子さんは、授業の内容が分かって言っている。	43%	42%	13%	2%						
3	児童 家で計画を立てて、宿題や勉強を学年×10分以上している。 (①1週間に6日以上 ②1週間に5日以上 ③1週間に3日以上 ④していない)	50%	23%	13%	14%						
	保護者 お子さんは、学年×10分程度は家庭学習(宿題を含む)をしている。(①毎日している ②週に5日はしている ③週に3日はしている ④あまりしていない)	39%	38%	14%	9%						
4	児童 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。	48%	38%	12%	3%						
	教職員 重点1に基づいて児童に考えをもたせ、ノート等に○自分で書かせるように指導した。	59%	39%	2%	0%						
5	児童 授業では、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。	47%	34%	15%	4%						
	教職員 重点2に基づいて児童の考えを伝え合う場を保障し、授業後半の活性化につなげた。	52%	45%	2%	0%						
6	児童 進んであいさつしている。	63%	27%	7%	3%						
	保護者 お子さんは自分からあいさつしている。	30%	41%	23%	5%						
	教職員 児童はあいさつができています。	11%	68%	20%	0%						
7	児童 校内は走らず、歩いている。	56%	34%	7%	2%						
	教職員 児童は、校内を走らず、歩いている。	9%	82%	9%	0%						
8	児童 授業中、姿勢に気をつけている。	36%	44%	16%	4%						
	保護者 お子さんは場に応じて、ていねいな言葉を使っている。	27%	45%	23%	5%						
	教職員 授業で姿勢と声掛けを徹底している。	36%	59%	5%	0%						
9	児童 クラスの中で、係や当番などの仕事に自分から進んで取り組んでいる。	63%	28%	7%	2%						
	教職員 児童は、みんなのために自分のやるべきことに取り組んでいる。(委員会・係・当番・そうじ・たてわり)	25%	73%	2%	0%						
10	児童 体育の時間に力いっぱい体を動かしている。	75%	20%	4%	1%						
	教職員 児童は体育の時間に、力いっぱい体を動かしている。	48%	50%	2%	0%						
11	児童 自分にはよいところがあると思う。	45%	34%	13%	7%						
12	保護者 ご家庭では、「早寝、早起き、家族いっしょの朝ごはん」に心がけている。	39%	40%	16%	4%						
13	児童 かつやかさ、机など自分の場所はきちんと後始末できる。	71%	21%	6%	2%						
	保護者 学校はすみずみまで整頓され、安全で清潔な環境となっている。	43%	49%	8%	0%						
	教職員 教室とその周辺は安全で清潔に整えられている。	43%	52%	5%	0%						
14	保護者 学校は、学校だよりや学校公開等を通して、「地域とともにある学校づくり」に努めている。	42%	50%	8%	1%						

A あてはまる
 B だいたいあてはまる
 C あまりあてはまらない
 D あてはまらない

今後の取り組み
・一人一人の活躍の場の保証と、安心・安全な学校づくりに努めます。そのために、各種児童アンケートを分析し、普段の子どもの様子を丁寧に見つめ、学校生活の改善につなげます。また、運動会などの学校行事では、子どもが楽しさや充実感をもつことができるように工夫します。
・どの子も授業の最後まで意欲的に取り組めるように、指導を工夫します。そのために、授業では子どもの学習状況をノートや話し合いの姿などから把握し、学習方法を指導したり、個別の指導・支援を充実させたりします。同時に、学習マナーの大切さを指導し、子どもが安心して授業に臨めるようにし、子どもが満足感、達成感をもてるような授業づくりに努めます。
・家庭での学習習慣の定着に努めます。そのために、「家庭学習パワーアップ週間」を学期に一度行い、子どもに家庭学習の大切さを啓発します。また、学年ごとに宿題の量や取り組み方、内容等の見直しを定期的に行ったり、自学勉強や読書を指導したりすることで、子どもの計画的に取り組む態度を醸成します。
・学校では、授業で「子どもが考えをもつこと」を重視しています。教職員はこれまでの授業から、もっと子どもが考えをもてるように工夫できると感じています。今後、子どもが学習課題に対して考えをもてるよう、学校は一層授業改善に取り組んでいきます。
・上記と同様に、授業で「子どもが話し合いを通して考えを広げたり深めたりすること」を重視しています。今後、子どもが学び合いを通して考えを広げたり深めたりするよう、学校は子どもが考えを表現し合える場を保障し、子どもが様々な考えに触れられるように努めます。
・学校は「自分からあいさつをする子ども」を全校で育成すべく指導しています。アンケートを実施した7月を境に、驚くほど挨拶をする子どもが増えました。そして、それが「当たり前」になってきています。子どもには、「挨拶をすると、相手は笑顔になって仲よくなれるよ」と伝えています。学校では今後もあいさつ運動や生活目標、児童会の取組と関連させてあいさつの指導に取り組めます。ぜひ、ご家庭でもあいさつの大切さをお子さんに伝えていただくとありがたいです。
・学校ではあいさつと同様に「廊下を歩くこと」を指導しています。これは、安心・安全な学校生活の土台となることです。歩くことが「当たり前」の子どもがずいぶん増え、学校が落ち着いた雰囲気になってきました。「歩くことの良さ」を学校全体で共有し、今後も安全で落ち着いた学校づくりに努めていきます。
・学校では「授業のあいさつ時」「考えを書くとき」「友達の発表を聞くとき」などに、気持ちの切り替えや学習に集中するために、姿勢を気をつけるよう指導しています。授業だけでなく、保健の学習と関連付けたり、行事などの全体指導の場を生かしたりしながら、粘り強く指導していきます。
・係や当番の仕事を進んで行うことは、子どもの「将来社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力」を育むことにつながります(キャリア教育)。学校では一人一人が主体的に活躍できる場を保障するためにも、このような仕事の場を通したキャリア教育を充実させていきます。
・学校の体育の授業では、子どもの体力や運動技能向上、生涯スポーツの素地づくりに向け取り組んでいます。準備運動ではみんなが力いっぱいできる活動で運動の質・量を確保し、主運動では適切な目標設定をして、みんなで達成感を味わえるような授業づくりに努めています。また、県教育委員会や県立大学とも連携した授業研究にも取り組んでいます。今後も、児童が楽しみながら運動に親しめるよう努めます。
・本校のめざす子ども像は「自分から かがやく のっ子」です。自分からかがやくために、「やってよかった」という充実感と達成感を子どもが味わえるように教育活動を工夫して、子どもに自分のよいところに気づかせたいと考えます。
・規則正しい生活習慣と朝食は、子どもが元気いっしょに学習に取り組んだり友達と仲よく遊んだりするための原動力となります。今後とも子どもへの働きかけをお願いいたします。
・学校は、いつでも清潔で安全な学びの場となるよう、校内環境の整備に努めています。一方で、児童の年齢が上がるにつれて否定的評価が増え、持ち物の整理整頓や自分の場所の後始末ができていないという認識があることがうかがえます。学校でも持ち物の管理や整理整頓に向けた声掛けを行ってまいりますので、ご家庭でも学用品の管理や記名へのご配慮をお願いいたします。学校と家庭とで連携して、持ち物を大切にしようとする子どもを育みましょう。
・本校は、地域社会に開かれた学校づくりをめざしています。今後とも、学校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。